

収受年月日	議長	事務局長	書記
2022.02.26			
第 160 号			

令和2年2月26日

埴町議会議長 大縄 武夫 様

総務常任委員会委員長 鈴木 安次



所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を下記のとおり実施したので、埴町議会会議規則第77条の規定により報告する。

記

1 調査事件 町への寄附金等の管理状況について

2 調査の経過

本委員会は、町への寄附金等の管理状況について、担当課から聞き取り調査を行った。

調査日 令和2年2月7日（金）

出席委員 鈴木安次、小林達信、小峰由久、吉田克則、高縁 光、
青砥與藏、大縄武夫

説明員 総務課長、財政係長

職務出席者 議会事務局長、書記

場 所 委員会室

3 調査の結果

町への寄附金等の管理状況について、総務課長、財政係長出席のもと調査を実施した。

町に寄附をされた現金や物品等の管理状況については、議員や町民には理解できない点も多く、処理経過や保管状況を中心に聞き取りを行った。

平成28年度から令和元年度（平成31年度）迄での寄附金者名簿、土地や物品の寄附採納状況については、平成28年度以前の主なものを調査した。

寄附金採納は、総務課で財産台帳に載せて目的別に担当課に振り分けられて管理されているとのことであった。

例えば平成27年6月に物品（炊き出しステーション）、厨房器具類262,500円相当の寄附がなされて生活環境課で管理をしているとの説明であった。

受け入れは総務課だが、その後は所管課で管理しており、管理状況がすぐには見えないような印象を受けた。今後は一括管理ができるシステムを構築して、保管状況等が誰にでも分かるようにすべきと考える。

今回、実際にどのような使われ方をしているのかは、調査をすることはなかったが寄附者の希望に沿った運用を望むものである。

また土地などは、まち整備課で直接受付をして寄附採納し登記をして、総務課で財産台帳に載せて管理をしているとのことである。

質疑の中で様々な話が出されたが、その中で福島県の名工に選ばれた方から寄附された日本伝統の組子細工（木製組子入衝立）の管理状況の質問に対し、以前は町長室に置いてあったが、現在は防災センターの倉庫に保管してあるとの説明だった。

調査した次の日に、「ふくしま産業賞」特別賞を受賞した矢祭町の建具店が載っていた。この建具店の代表は組子細工で内閣総理大臣賞をした現代の名工であり、この方の師匠が町長室に飾ってあった組子細工の衝立を寄附した方でもある。

町長が「町内には仕事も少なく後継者が育たない。技術も継承できない状況にある。」と述べているが、埴町に寄附された組子細工の衝立は、後世まで引き継ぐ財産であり、町内に伝統工芸品制作者が実在していた証である。

課長が説明した寄附物品の展示保管する目安として、使用に耐えられないか、劣化状態により判断するとの説明であった。当時、その判断を誰が下したか分からないが、寄附者の気持ちを考えるならば、倉庫ではなく別な場所において展示することも今後検討して頂きたい。

4 委員報告書

別紙のとおり

收受年月日	議長	事務局長	書記
2.2.14	議員派遣 委員派遣	議員派遣 委員派遣	調査 研修等報告書
第 号			

様式 1

令和 2 年 2 月 1 4 日

議会議長
委員会委員長 様




提出者 鈴木安次

派遣目的 (調査等 名称)	総務常任委員会所管事務調査		
派遣の 日時	令和 2 年 2 月 7 日	派遣先 (場所)	委員会室
内容	第一 町への寄附金等の管理状況について		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>第一 町への寄附金等の管理状況について、総務課長、財政係長の出席のもと町に寄附をされたお金や、物品等の管理が議員や町民になかなか分かりづらいことなので聞き取り調査を実施した。</p> <p>平成 2 8 年度から令和元年度（平成 3 1 年度）迄での寄附者名簿が提示されたが、寄附金のみで土地や物品の寄附採納も休憩を入れて平成 2 8 年度以前の主なものを調査した。</p> <p>寄附金採納は、総務課で財産台帳に載せて目的別に担当課に振り分けられて管理されているとのことであった。</p> <p>例えば平成 2 7 年 6 月に物品（炊き出しステーション）、厨房器具類 2 6 2, 5 0 0 円相当の寄附がなされて生活環境課で管理をしているとの説明であった。</p> <p>実際にどの様な使われ方をしているのかは、調査をすることはなかったが寄付者の希望に沿った仕様のされ方を望む。</p> <p>また土地などは、まち整備課で直接受付をして寄付採納し登記をして、総務課で財産台帳に乗せて管理をしている。</p> <p>質疑の中で様々な話が出されたが、その中で福島県の名工に選ばれた人から寄附された日本伝統の組子細工（木製組子入衝立）の管理状況の質問が出された。以前は町長室においてあったが、現在は防災庁舎の倉庫に保管してあるとの説明であった。</p> <p>調査した次の日に「ふくしま産業賞」特別賞を受賞した矢祭町の建具店が載っていました。この建具店の代表は組子細工で内閣総理大臣賞をした現代の名工であります。</p>		

この人の師匠が町長室に飾ってあった組子細工の衝立を寄附した人
あります。

町長が「町内には仕事も少なく後継者が育たない。技術も継承できない
状況にある。」と言われていたますが、埴町に寄附された組子細工の衝立は
後の時代まで引き継いで行くべき伝統工芸を作る人がいたんだと言う証
であり財産であると思います。

課長が説明した、使用に耐えられないか、劣化状態の判断を誰が下した
か分からないが、寄附をされた方の気持ちを考えるならば、倉庫ではなく
別な場所において展示することも今後検討して頂きたい。

收受年月日	議 長	事務局長	書 記
2・2・14			
第 号			

調査・研修等報告書

氏名	吉田 克則		提 出 年 月 日	令和2年2月14日
調査等 名称	総務常任委員会所管事務調査			
調査等 の日時	令和2年2月7日 9:30～	場 所	委員会室	
調査等 の内容	町への寄付金等の管理状況について			
意見感想	<p>町への寄付金等の管理状況について総務課から説明を受けた。平成26年度から令和元年度の寄付者名簿の寄付金額等が記載されていた。寄付金等の管理は寄付者名簿の記載一覧で管理をしていると言う。寄付金の使途については一般財源充当や基金積立等としているが善意ある寄付者の意図を十分に反映された使途と寄付金は一目で分かる台帳整備が必要と思われた。</p> <p>貴重な寄付物品が倉庫に保管されているものがあると説明を受けた。物品寄付管理も同様に台帳整備を行い誰が何時寄付されてくれたのか又、その所在が明確に分かるように管理すべきと指摘したい。</p>			

埴町議会



收受年月日	議長	議長	書記
2024	委員派遣	委員派遣	調査
第 号	大綱	藤田	根本

研修等報告書

2年 2月14日

委員会委員長

様

提出者

高縁光

派遣目的 (調査等 名称)	総務常任委員会 総務課 課長係長 説明を行った。		
派遣の 日時	令和2年2月7日(金) 午前9時30分より	派遣先 (場所)	委員会室
内容	<p>① 町への寄附金等の管理状況について</p> <p>ア) 希望の特設台 道路等も寄附報川にしている 各課で所管管理している 特設の修理も町 が行っている 富永マンゾリに付しても振興課で扱われる</p>		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>② (イ) 寄附物品に付いて年限があるか 劣化した場合は廃棄する 物品の入る倉庫はたしか台帳的には 管理している。</p> <p>(ニ) 令和元年から平成26年度までの寄附金 額と件数と便益を知る事ができた</p>		

収受年月日	議長	事務局長	書記
2022.2.14			
第 号			

総務常任委員会

令和2年2月12日

所管事務調査報告書

寄付金・寄付物品の管理状況

期 日 令和2年2月7日 9:30～

説明員 総務課長・係長

資 料 寄付一覧票

意 見

寄付金の管理は出来ていると感じます。

寄付された備品管理は、適材適所の係に管理されていると言うことですが、

一括管理が出来ていないと感じました。前石川監査が管理のズサンを危惧され

ていましたが、商品を照らし合わせていないので確認出来ませんでした。

- 1、 寄付台帳（管理課項目付）⇒JTB 委託分が確認できなかった。
- 2、 管理台帳（物品）⇒備品通しナンバーの管理状況が出来なかった
- 3、 寄付台帳と現品⇒確認を毎年行う。

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100



收受年月日	議 長	書記	調査
2・2・10	議員	派遣	研修
第 号	委員	派遣	報告
議会議長	大 根	藤 田	本

調査研修等報告書



令和 2 年 2 月 10 日

議会議長
委員会委員長 様

提出者 大 根 武 夫

派遣目的 (調査等 名称)	総務常任委員会所管事務調査		
派遣の 日時	令和 2 年 2 月 7 日 (金)	派遣先 (場所)	委員会室
内容	1. 町への寄附金等の状況について		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>各年度の寄附金については、決算資料等で目にする機会があるが、一般寄附として受付した部分は、町の歳出のどこに係る部分か見えなくなってしまうのは執行上致し方ないが、額の大小に関わらず職員は感謝の気持ちを持ちながら事業の遂行にあたってもらいたい。</p> <p>管理状況として台帳を作成し、物品での寄附であれば所管課まで明記されている状況は良好であると言える。委員からの意見であった担当課を移管した日時等を記録できるよう検討してもらいたい。</p> <p>寄贈された物品で、経年劣化や使用目的を果たした物などは、寄附者の事を考えると心苦しいが、負の遺産として保管する事はスペースの関係でできないだろうから、処分等の適正な管理を望む。</p>		



收受年月日	議長	事務局長	書記
2.2.7	議員派遣	委員派遣	調査研修等報告書
第 号			

2年 2月 7日

議会議長
委員会委員長 様

提出者 小林達信

派遣目的 (調査等 名称)	所入の寄附金等の管理状況について		
派遣の 日時	令和2年2月7日	派遣先 (場所)	委員室
内容	寄附金の管理状況について		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	良くわかった。		

